

多様な武道指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

<h1>なぎなた・相撲</h1>	萩市立田万川中学校（山口県） 電話番号 08387-3-0556 メールアドレス tngw556@edu.city.hagi.lg.jp
------------------	--

●実践研究のねらい

○地域スポーツ指導者の専門的な指導により、生徒の意欲や関心が高まる授業を仕組む。 ○武道の歴史、礼法及び伝統的な所作や作法を専門的に学ぶことを通して、相手を尊重し、伝統的な所作や作法を守ろうとする意識を高め、田万川地域で伝統的に親しまれてきた相撲文化の伝承を図る。 ○地域スポーツ指導者と連携して授業を行うことで、保健体育科教員の専門的な知識や技能の習得による指導力の向上を図る。
--

●複数種目指導モデル 第1学年（1学級 13名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
種目	なぎなた					相撲				
学習の流れ	オリエンテーション	導入（あいさつ、健康観察、本時の学習の見通し）								
		基本動作の学習（足さばき、自然体）	基本動作の学習（構え、足さばき）		相撲の歴史について	基本動作（蹲踞、塵浄水、四股、すり足）			まわしのしめ方	突き押し
		打突の学習（正面、すね）	持ちかえ技（側面、すね）			ミニゲーム（瞬発力）（足さばき）	突き押し	主審、進行の練習		
		対人技能の学習（受け方）	打ち返し		基本動作（礼儀）（四股）（すり足）				突き押し	主審、進行の練習
			リズムなぎなた							
		整理（本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ）								

●指導の工夫

<p>1 効果的に指導するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導内容の精選 限られた時間内で生徒が達成感を味わうことができるよう、指導内容の精選を図る。 ○生徒の視覚的な理解を促す資料の充実 映像や掲示物などの資料を充実するとともに、資料を活用した協働的な学習場面を設ける。 <p>2 生徒の安全を確保するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域スポーツ指導者と教員あわせて3名の指導により、生徒の活動場面では常に安全面を配慮しながら、きめ細やかな指導や支援を行った。 ○相撲の単元の全てにおいて、体育館に簡易型の室内土俵を設置し安全の確保を図った。 ○2種目とも裸足で行うため、授業前には体育館をモップ掛けし、目視でも床面の破損や危険な物が落ちていないかの確認をした。 ○授業の前後には手指や用具の消毒等を行うなど、感染防止対策を講じた。

●授業の様子



【 息を合わせた構えと打突 】

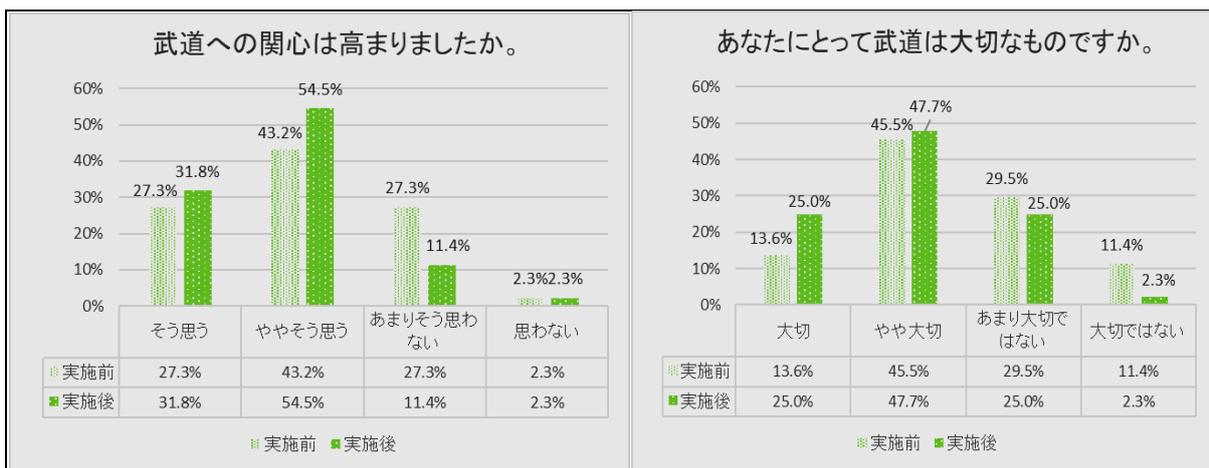
全員でタイミングを合わせて行った「持ちかえ技」や「打ち返し技」は美しく圧巻であった。



【 足さばきトレーニング 】

相撲特有の四股やすり足の動作を、ゲームを交え、楽しみながら行った。

●生徒の意識、感想、変容など



●成果

- 専門的な技能と知識に基づいた指導を受けることにより、武道についての理解を深め、興味・関心を高めることができた。
- 最初は武道に対する不慣れな様子が見られた1年生も、地域スポーツ指導者の熱意と温かい言葉かけによって、意欲的な様子が見られるようになった。
- 伝統文化の理解や、礼儀作法の習得を実感した生徒が多く見られた。

●課題

- なぎなたでは、実際に「打つ・打たれる」の攻防が用具の都合上、実施できなかった。なぎなたの防具を容易に借用できる仕組みを模索している。
- 今年度は感染症の影響で全校生徒による相撲大会が実施できなかった。状況にもよるが、来年度からは本校の行事の一つとして開催していきたい。
- 今後も近隣小学校と連携しながら、相撲を始めとした田万川地域の武道の伝承を図りたい。
- 保健体育科教員にとっても、授業展開の仕方や説明の仕方、試合の進行など、大変参考になることが多く、今後の武道指導の充実に向けて、本事業の果たす役割は大変大きいものであると感じた。